

# 平成15年度 一般会計決算の概要



この資料は、平成15年度一般会計決算（速報値）の概要を取りまとめたものです。なお、決算については、監査委員の審査を経て、第3回市会定例会に上程することとなります。

## 財 政 局

# 目 次

---

1 . 平成 1 5 年度一般会計決算のポイント . . . . .	1 ~ 3
2 . 歳入決算の概要 . . . . .	4 ~ 7
( 1 ) 歳入決算の概要	
( 2 ) 市税の決算額について	
( 3 ) 市債の決算額について	
3 . 歳出決算の概要 . . . . .	8 ~ 21
( 1 ) 歳出決算の概要	
( 2 ) 主要事業の決算	
参考資料 . . . . .	22 ~ 27
< 一般会計 >	
1 . 歳入・歳出決算額及び実質収支	
2 . 歳出最終予算額と歳出決算額の対比	
3 . 市税決算の概要	
4 . 地方交付税・臨時財政対策債の推移	
5 . 財政調整基金の推移	
< 特別会計 >	
6 . 特別会計決算の概要	
< 企業会計 >	
7 . 企業会計決算の概要	
< 中期財政ビジョン >	
8 . 「中期財政ビジョン」主な重点取組への対応状況	

表示単位未満を四捨五入して端数調整をしていないものがあるため、合計等と一致しない場合があります。

# 1. 平成15年度一般会計決算のポイント

## 【実質収支】前年度に比べ約30億円増加し、過去10年間で2番目に大きな額

15年度の一般会計決算における実質収支、いわゆる決算剰余金は、前年度に比べ約30億円増の38億3,000万円となり、過去10年間で2番目に大きな額となりました。

これは、市税や県税交付金が予算に比べ増収となったことや、職員一人ひとりが徹底したコスト意識を持ち、より効率的・効果的な事業執行に努めたことなどによるものです。

特に、15年度に創設した「予算におけるメリットシステム」により、約9億円を節減したことが、実質収支の増要因となっています。

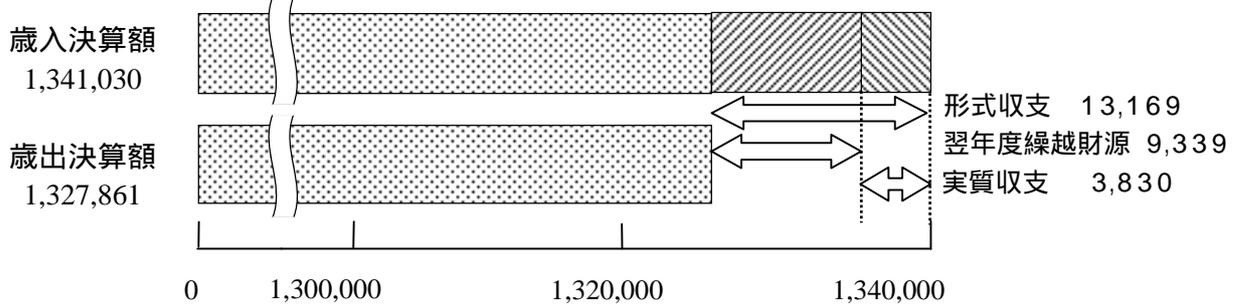
一般会計決算の状況

(単位：百万円)

	15年度	14年度	増減 -	増減比
歳入決算額 A	1,341,030	1,338,093	2,937	0.2%
歳出決算額 B	1,327,861	1,324,304	3,557	0.3%
形式収支 C = A - B	13,169	13,789	620	
繰越財源 D	9,339	13,044	3,705	
実質収支 E = C - D	3,830	745	3,085	

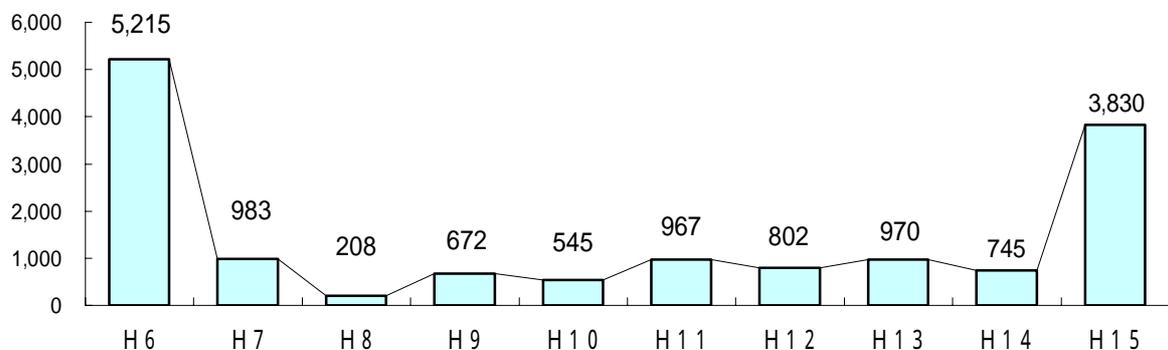
一般会計決算の状況

単位：百万円



実質収支の推移

単位：百万円



- 1 実質収支：形式収支（歳入決算額から歳出決算額を差し引いた額）から翌年度に繰り越す事業に充てるための財源を差し引いたもので、当該年度に属すべき収入と支出の差を示しています。  
その金額の1/2は財政調整基金に繰り入れ、1/2は前年度繰越金として翌年度の歳入となります。

**《歳入・歳出》ほぼ前年度並み  
過去10年間で2番目に小さい規模**

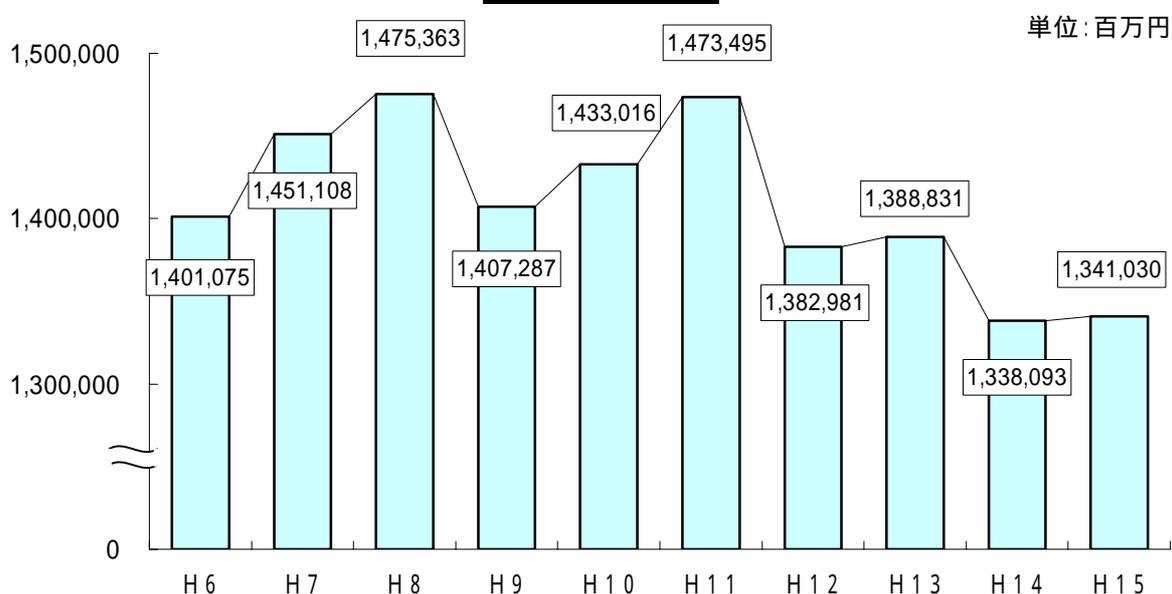
詳しくは4～8ページをご覧ください。

歳入は、市税や地方交付税などが減となった一方で、国庫支出金の増や臨時財政対策債の活用などにより、ほぼ前年度並みの1兆3,410億3,000万円、前年度決算比0.2%(29億3,700万円)増となりました。

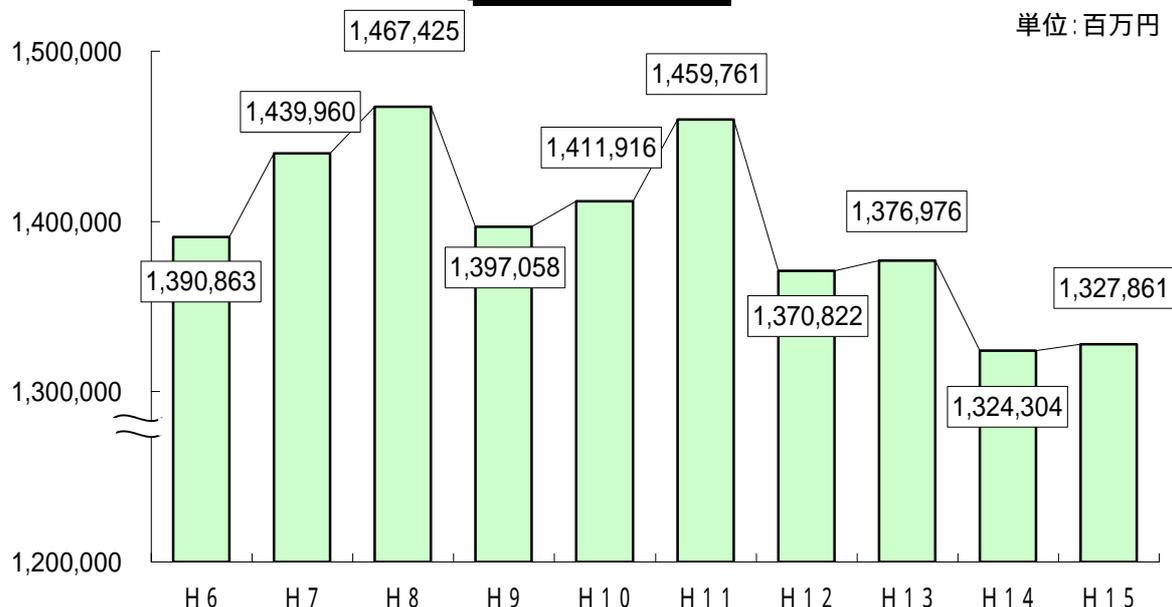
歳出は、効率的な事業執行に努めながら、様々な市民ニーズに対応した結果、ほぼ前年度並みの1兆3,278億6,100万円、前年度決算比0.3%(35億5,700万円)増となりました。

歳入・歳出ともに、過去10年間で、前年度に次いで2番目に小さい規模となります。

**歳入決算額の推移**



**歳出決算額の推移**

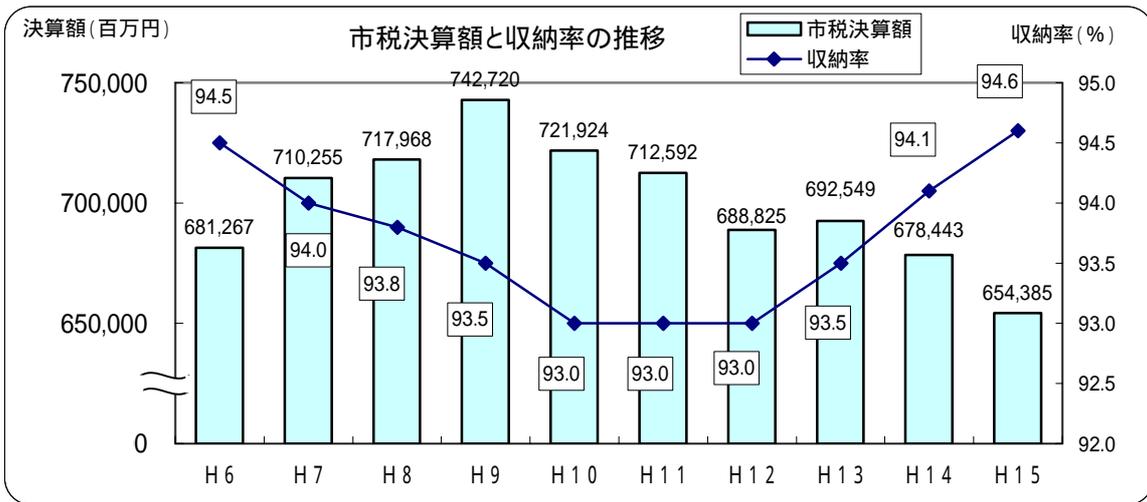


**《市税》前年度に比べ3.5%減、過去10年間で最も低い額**

詳しくは5・23ページをご覧ください。

市税は、個人市民税(112億4,400万円)や固定資産税(125億4,900万円)の減などにより、前年度決算比3.5%減(240億5,800万円)の6,543億8,500万円となりました。これは過去10年間で最も低い額となります。

一方、納税環境の厳しい中「特別滞納整理班」の設置など、局区一体となった収納対策に積極的に取り組んだ結果、収納率については、前年度比で0.5ポイントと大幅に向上し、94.6%と過去10年間で最高となりました。また、滞納額も前年度より48億円減少し317億円となり、過去10年間で最も低い額となりました。



**《市債》発行額は前年度に比べ8.2%減  
市債残高は2年連続減少**

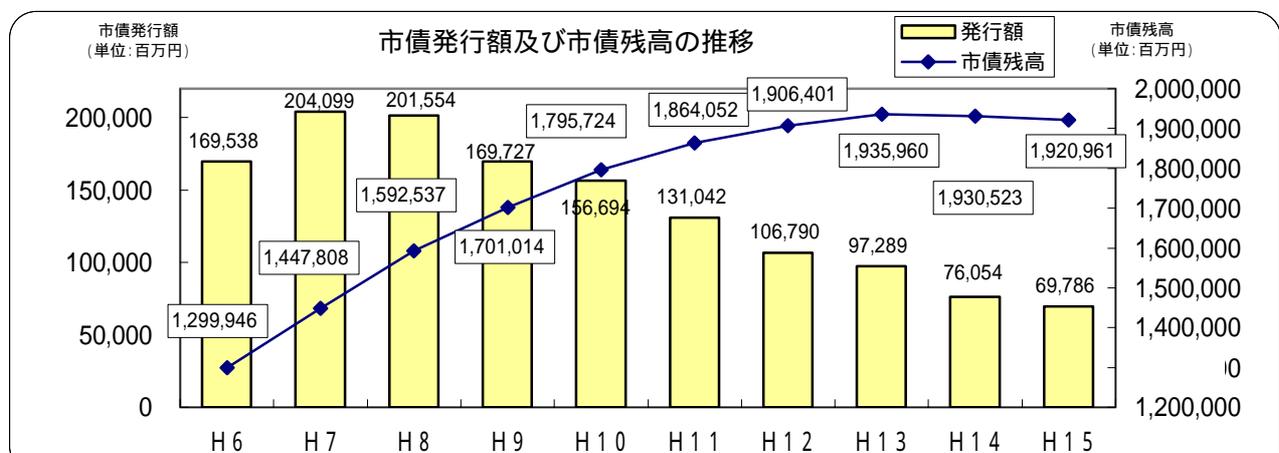
詳しくは6・7ページをご覧ください。

減税補てん債、臨時財政対策債を除く一般会計の市債発行額は、引き続き発行抑制に努めた結果、対前年度8.2%減の697億8,600万円となりました。

市債残高は2年連続で減少(前年度決算比0.5%、95億6,200万円)しました。

平成15年度末市債残高

一般会計 1兆9,209億6,100万円(減税補てん債、臨時財政対策債等を除く)



- 1 減税補てん債：恒久的減税等による地方税減収額を補てんするために発行が認められた地方債で、元利償還金が後年度の地方交付税の基準財政需要額に算入されるものです。
- 2 臨時財政対策債：地方財政の財源不足を補てんするために発行が認められた地方債で、元利償還金が後年度の地方交付税の基準財政需要額に算入されるものです。